



文化スポーツ推進計画/市民まつりから地域活性と経済再生を



策定された文化スポーツ推進計画をより実効性のあるものに

質問 ①多様な文化芸術の鑑賞・活動機会の提供を重点施策とした背景と理由は。

市長 ①市民アンケートや検討委員会、子どもの頃から身近に文化芸術に触れる機会があることで、自然と文化芸術に親しみ豊かな生活を送れるという意見があり、重点施策とした。

②計画全体のロードマップはないが、個別施策ごとPDCAサイクルにより進捗状況を点検・評価し、より充実した事業展開が図れるよう取り組んでいく。

4年ぶりとなる小平市民まつりから地域活性化と経済再生を

質問 ①コロナ禍を経験した今、市民まつりを開催する目的は。

市長 ①市民・各種団体等がそれぞれの立場で市民まつりに参加することで、市民意識と連帯意識の向上を図り新しいふるさとづくりを促進することである。

②今後開催の市民まつり実行委員会の各部会で、これまでの振り返りや本年度のコンセプト等を話し合い、よりよい市民まつり開催に向け取り組んでいく。



マイナンバー関連トラブル/安心・安全なおいしい学校給食を



マイナンバーカードをめぐるトラブルについて市の状況を問う

質問 ①カードの申請率は。

市長 ①4月末で85%である。

②本市では第三者への誤った見込み数は。

安全・安心なおいしい学校給食を子どもたちに

質問 ①食育の観点から学校給食に期待するところは。

市長 ①日々の配膳から片づけを通して、望ましい食習慣等を身につけることなどである。

②J/A東京むさしでは把握していないと聞いている。



続・小川駅西口地区事業/学校との関わり方



続・小川駅西口地区市街地再開発事業について

質問 ①対象区域内の商店等の明渡しが進み、周辺住民等から日常生活の買い物に不便になったと聞く。移動式スーパー等の誘致を検討してはどうか。

市長 ①現在2事業者が市内4か所の都営住宅で移動スーパーの販売をしている。同事業者に情報提供を行い、地元自治会と可能な範囲で調整していく。

②この1年で、小川駅周辺の民営自転車駐車場設置に対する補助制度の問合せは1件あった。

それ以降具体的な相談はなく現時点で設置の可能性は示せない。

空き家等対策及び低所得者や高齢者等への居住支援について

質問 ①空き家等の相談で解決に至っていない主な要因は。

市長 ①相続、所有者の意思能力の欠如及び費用の問題のほか、所有者が思いのある実家の処分に踏み切れないことなどにより解決に時間を要することが要因であると捉えている。

②現在のところ市ではそのよう

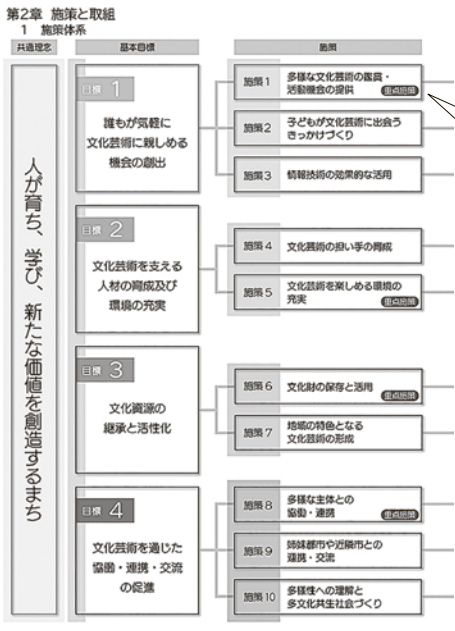


空き家等対策及び低所得者や高齢者等への居住支援について



うな仕組みはなく、今後も取り組む予定はない。なお、離職などにより住居を失った人または失うおそれのある人に対し、就職に向けた活動を行うことなどを条件に一定期間家賃相当額を支給する制度や、住宅に困っている高齢者を対象に、市が民間のアパートを借り上げて支援する制度がある。

③そのような制度はないが、生活困窮者については離職などにより住居を失った人などに、一定期間家賃相当額を支給する制度がある。また、高齢者及び障害者については賃貸借契約に係る保証料の助成などを行っている。



多様な文化芸術の鑑賞・活動機会の提供を重点施策とする小平市文化スポーツ推進計画(一部抜粋)



医療的ケア児への支援の拡充を/市は市民の声に込めているか



小平市で医療的ケア児への支援の拡充を

質問 ①医療的ケア児の人数は。

市長 ①0〜2歳児が8人、3〜5歳児が5人、小学生7人、中学生3人、高校生4人である。

②通常の調査で決定が難しい乳幼児期については、医療的ケア判定スコアの調査における医師の判断を踏まえ決定している。

医療的ケア児への支援の拡充を/市は市民の声に込めているか

質問 ①事業主は、令和4年6月に行った周辺住民への説明内容を市長に速やかに報告したか。

市長 ①説明内容の報告書が令和5年2月に提出され、速やかな報告を行うよう指導した。

②施行規則により事業主は住民に周知する責務があるが同意や承諾まで求めている。不安な事柄は事業主に確認し双方の話し合いによる解決が必要である。



東部地域から中央エリアへ交通アクセスの利便性向上を



東部地域から中央エリアへの交通アクセスの利便性向上を

質問 ①東部地域から中央エリアへの公共交通でのアクセスはよいものと認識しているのか。

市長 ①鉄道や都営バスなどでアクセスでき、その鉄道駅までコミュニティタクシーや民間の路線バスが運行しているため、一定の利便性は確保されている。

②鈴木町ルートは既に東部地域を運行しているが、延伸することで現在安定している30分間隔の運行が確保できなくなる

東部地域から中央エリアへ交通アクセスの利便性向上を

質問 ①地場産農産物の使用について、小・中学校の児童・生徒、保護者への周知は。

市長 ①各学校の児童・生徒、保護者への周知は、保護者会等で学校給食の特徴として説明するなどしている。

②学校給食への利用率を40%まで引き上げる場合の課題は。



ユニバーサルデザインを進め、暮らしやすいまち小平に/市民参加の在り方



ユニバーサルデザインを進め、暮らしやすいまち小平に

質問 ①ユニバーサルデザインの施設を考える上で、どのような視点が大切だと考えているか。

市長 ①年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、誰もが同じように安全、安心で快適に利用できる施設を整備することが大切であると考えている。

②前者は、利用者の声に耳を傾け必要に応じ改善を検討する。

意見聞き必要に応じ改善を検討するほか、アンケート等意見があれば対応を検討していく。

ともにもちづくりを行っている

質問 ①審議会等に市民が参加する意義は。

市長 ①地域の課題解決に当たり、開かれた市政運営の観点から直接的に市民の意見を聴く仕組みの1つと認識している。

②意見は可能な限り反映に努めている。引き続き新たな手法を含め工夫し情報提供に努める。